



高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル8F
TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006
URL : <http://www.hokkaido-kouren.com/>

今号の内容

- ▶シリーズ北の志
 - ・北海道岩見沢農業高等学校
 - ・札幌国際情報高等学校
- ▶第63回全道大会報告
- ▶総会報告
- ▶支部だより
- 石狩・後志

Heart to Heart 北の志

ひたむきに頑張る君たちを応援したい

野球だけじゃない、いろいろな甲子園を探して
そこで活躍するどさんこ高校生たちを紹介します。



まだまだあるぞ
甲子園



ご当地！絶品 うまいもん甲子園 北の大地の夢 岩農チリドック

～準グランプリに入賞して～

北海道岩見沢農業高等学校 教諭 齋藤克幸



～うまいもん甲子園に出場するぞ！～

平成24年度にスタートしたうまいもん甲子園は、食や農業を通じて高校生の夢を応援し地域を盛り上げることをねらいに、全国の農業高校の生徒が4人のグループを編成し、地元の食材を使ったアイデアメニューを競う食のイベントです。

応募要領が発表された8

月、私が指導担当している

養豚班の生徒にこのことを

話したところ、自分たちが

飼育している豚肉を使用し

た商品を開発して出場した

いとすることになりました。

それは、日頃から「課

題研究」の授業の一環で農

畜産物に付加価値をつける

生産や販売の方法と6次産

業化について考えさせ興味・関心を持たせていましたか

らだと思います。

養豚班の生徒は、岩農の

特色を全面に打ち出し、実

験実習で生産した食材で地

域をアピールしようと考えました。そこで、自分たちが飼育している北海道で唯



一の生産で幻の豚と呼ばれている「中ヨークシャー種」の豚肉に、農業科学科で生産した、たまねぎと、味にアクセントを付けるミニトマトを使用することを考えました。そこで、3年生の畜産科学科2名に「自分たちで生産したものを使いたい」という同じ目的を持つた農業科学科2名が加わり、4名の『チーム岩農』が結成されました。

軽に作れて、食材の味がわかりやすく、お客様に早く提供でき、食べやすいもの」という、2つのコンセプトを立てました。その結果、ご当地バーガーを参考にして、スライスした豚肉とタマネギ、ミニトマトを挟んだ素材の味がわかりやすいホットドッグ形式とすることにしました。

～岩農チリドックの完成～

生徒は、味の決め手をどうするかについて苦労していました。

ジンギスカンのタレなど

を試しましたが、せっかくの中ヨークシャー種の肉味

とたまねぎがソースに隠れてしまします。試行錯誤の結果、ミニトマトと「岩農産ケチャップ」にタマネギのみじん切りを加えたチリソースをかけることにしました。その後、試食会やアンケートを行うと同時に、岩見沢市内レストランや本校卒業生から助言と協力をいただきましたながら、マイナーチェンジを繰り返し、味を固定していきました。

～おわりに～

今回の出場で生徒は、自らが生産したもの、自ら加工して、付加価値を付け販売するという6次産業化を実際に体験することができます。その中で生徒は、企画力、実践力、宣伝力などを身に付けることができました。

出場に当たり、多大なご協力とご支援をいただき生徒の熱い思いに応えてくれた地域の皆様に感謝申し上げます。また、改めて地域の教育力の高さを痛感したところです。

平成24年11月2日・3日、全国77校のチームから選ばれた8ブロック9校が、東京銀座での料理コンテストと有楽町駅前での実売イベントを行いました。地域の代表というだけあり、日本全国のご当地メニューはどうしても美味しそうなものばかりでした。実卖イベントでは4時間で350食を売り上げ、スマーズな調理と接客でお客様を待たせるこ

となく商品を提供できました。審査委員長の服部幸應先生からは、「新感覚なチリドックで素材の味が生きる美味しい」とコメントをいただきました。料理コンテストの結果は、準グランプリに当たる「農林水産省食料産業局長賞」を受賞しました。



～農林水産省食料産業局長賞～



～長賞～を受賞

北海道プロック代表に決まりました。食味の向上、

まつてからは、食味の向上、

全国77校のチームから選ばれた8ブロック9校が、東京銀座での料理コンテストと有楽町駅前での実売イベントを行いました。地域の代表というだけあり、日本全国のご当地メニューはどうしても美味しそうなものばかりでした。実卖イベントでは4時間で350食を売り上げ、スマーズな調理と接客をお客様を待たせるこ

となく商品を提供できました。審査委員長の服部幸應先生からは、「新感覚なチリドックで素材の味が生きる美味しい」とコメントをいただきました。料理コンテストの結果は、準グランプリに当たる「農林水産省食料産業局長賞」を受賞しました。

IKENOBO 花の甲子園

北海道札幌国際情報高等学校

華道部顧問 教諭
松 橋 康 子



「ぱちん、カチーン。」

静寂の中から、心地よい花鉄の音が聞こえてきます。花の形をととのえながら、花と真っ直ぐに向き合う部員の姿があります。

札幌国際情報高校華道部の活動は、水曜日放課後、被服実習室にて、華道家元池坊講師の木村昭子先生をお招きして行なっています。部員は3年生4名、2年生5名、1年生7名の16名。その全員が女子という構成です。

この全員が、高校入学翌日の「部活動紹介」や「新入生歓迎生け花体験」で初めて花に触れ、まったく経験のない初心者の状態で入部します。年に20回ほどの



部活動の様子

限られた回数のお稽古ですが、生け花の「基礎」や花の扱い方などからしつかりと学びます。

日本の伝統の古典芸能や文化には、非日常的なものも多く高校生が慣れ親しむ機会になかなか恵まれにくいうですが、部活動を通じて機会を得るのもひとつよい方法といえるのではないか。どうでしょうか。

「お稽古はしているけれど、なかなか発表の場がないで…」「せつから腕前は上がってきたのに、見ていいただく機会は年に一度の学校祭くらいで…」「運動部はいいなあ、遠征があつて他校と練習試合などで交流できるのが本当に羨ましい！」といった声は、大会のない文化系の部の生徒からはよく聞かれます。そんな声を汲みとつて、学生達にすばらしい発表の場が設けられました。

伝統文化と現代のテクノロジーの見事なコラボともいえる『IKENOBO学校華道インターネット花展』(生け花作品の写真とコメントによるコンテスト)は、本校では6年ほど前から、年



北海道地区予選会

みとなりました。制限時間「15分」で、オリジナルの「掛け」の作品を完成させます。続いて、2分30秒で作品のプレゼンテーションを行ないます。

本校は流通サービス科・国際文化科等の学科があり、特色ある授業の中で既にプレゼンテーションのスキルが培われている部分もあり、生徒同士の互いの努力により、優れたものになっていたと感じました。

予めエントリーした3名が「黒コンポート」「池坊自由花指定花器」そしてオリジナルの手作りの「ミニチュア花器」をそれぞれ担当し、持ち込み花材として持参した「ななかもど」と、サプライズの花材セット」(内容は事前に知らされない)が各チームに配布され、2次審査が始まりました。それぞれの学校からの作品と発表は、感性が生かされ、元気よく個性にあふれたものばかり、さらに自らが実習で育てた花を持参したチームなど、感心させられました。

本校がクジで引き当てた審査場所は、六角堂を背にする最高の場所でした。次期お家元(池坊由紀様)を筆頭に学院の教授陣、ゲスト審査員がズラリと並ぶ前に、どの学校の代表も、真剣に花と向き合う姿に感動を覚えました。大会は、池坊お家元の母校の比叡山高校が、校庭の美しい紅葉を見事に生け込み優勝。優勝旗を手にしました。

コンテストですから、確かに勝負はかつており、高く評価をいただければ嬉しく、誇らしくもあります。花の甲子園の出場においては「勝負だ!負けたくない!」といったよう

第1回目は江別高校にて、第2回目は函館市(遠方のため、不参加)、第3回目は小樽市、そして第4回目の昨年は札幌市地下歩行空間にて行なわれました。第4回目大会の1次審査は、大勢の観客の前での生け込

みとなりました。制限時間「15分」で、オリジナルの「掛け」の作品を完成させます。続いて、2分30秒で作品のプレゼンテーションを行ないます。

本校は流通サービス科・国際文化科等の学科があり、特色ある授業の中で既にプレゼンテーションのスキルが培われている部分もあり、生徒同士の互いの努力により、優れたものになっていたと感じました。

予めエントリーした3名が「黒コンポート」「池坊自由花指定花器」そしてオリジナルの手作りの「ミニチュア花器」をそれぞれ担当し、持ち込み花材として持参した「ななかもど」と、サプライズの花材セット」(内容は事前に知らされない)が各チームに配布され、2次審査が始まりました。それぞれの学校からの作品と発表は、感性が生かされ、元気よく個性にあふれたものばかり、さらに自らが実習で育てた花を持参したチームなど、感心させられました。

コンテストですから、確かに勝負はかつており、高く評価をいただければ嬉しく、誇らしくもあります。花の甲子園の出場においては「勝負だ!負けたくない!」といつたよう



全国大会にて (六角堂をバックに)



【開会式】

大会主題を「価値観の多様化時代、子供たちの主体性を育む意欲的なPTA活動を」とし、「釧路湿原・根釧台地の風を感じながら広大な自然と豊かな海に囲まれた道東の地で、いにしえの開拓者達は、皆、壮大な夢を描いた。そこで今、大自然に培われた開拓者精神を敬い、心豊かでたくましく健やかに生きることを願い、「私たちは子供の応援団、主役は子供たち」を合い言葉に語り合いましょう」の大会メッセージ

のもと、釧路市観光国際交流センターを主会場に、二日間にわたる大会が幕を開けた。

開会式で主催者を代表して挨拶にたつた中島会長は、「先生、地域、保護者が三位一体となって時代を担う子どもたちに対して継続して支援をしていく必要がある」と呼びかけた。

また、今大会が「各学校単位でのPTA活動が、今以上に活性化し柔軟な対応できる組織を目指して、情報交換や意見交換を行うことで保護者力や教育力の向上となるポイントを見つけていただきたい」と期待を込めた。続いて、

大会実行委員長、釧路商業高等学校の鈴木敏夫会長は、「PTAは、子どもたちが日々学び活動ステージを見つめ、励まし、援助しながら自己実現を図るプロセスを温かく支える応援団である」と述べた。

また、共催者挨拶として全国高等学校PTA連合会

第63回大会（釧路・根室大会）

の相川順子会長は、「保護者は、変化し続ける社会の中でも、子どもたちが将来の夢をしつかりもち、様々な困難に耐える力を養い、未だに向かっている道筋を支援していくことが求められている」と呼びかけた。

また、今大会が「各学校単位でのPTA活動が、今以上に活性化し柔軟な対応できる組織を目指して、情報交換や意見交換を行うことで保護者力や教育力の向上となるポイントを見つけていただきたい」と期待を込めた。続いて、

長が祝辞を述べた。

講演会

講演では、講師に獣医療機関猛禽類医学研究所代表獣医師齊藤慶輔氏を迎えて、「野生動物の命を守る／希少猛禽類の救護と環境治療の現場から」と題して、講演を行った。

環境省釧路湿原野生生物保護センターで、野生動物

傷病・死亡については、車や列車などの衝突事故や鉛中毒、感電事故、発電用風車への衝突事故であること、すなわち、その原因は人間の活動であるとし、その予防のため、野生動物の生息環境の改善を「環境治癒」と称して活動の主軸と

していることを紹介した。

瀕死状態の動物は、野生に戻すことはできないが、彼らにも使命があり、輸血用ドナーとして動物の治療に参加してもらっている。

それはすべて、命を繋ぐためであると強調した。

また、保護したシマフク



【分科会】

大会二日目は、釧路湖陵高校・釧路工業高校を会場に分科会が行われた。「進路支援としてのPTA活動のあり方について」、「知りたい知らせたい学校の姿／PTAのあり方と活性化」、「地域と連携した学校行事を支援するPTA活動」など、三十五の分科会に分かれて、情報および意見の交換が行われた。

各単Pの活発な活動が紹介された。時々、笑いが起ころなど、和やかな中にも会員相互が真剣に、本音で話し合い、時間を忘れての有意義な交流となつた。

「傷病野生動物は、自然界からのメッセージ」である。傷病野生動物が、変わりゆく自然環境を私たちに伝えてくれる。彼らが身をもつて伝えるメッセージをきちんと受け止めて、より良く、人間と野生動物が共生することを考えなければならぬ。環境改善の事業と一緒に参加して欲しいことを聴衆に呼びかけ、

北海道高等学校PTA連合会

總會報告

1	日時 平成25年6月14日(金)	中島 圭 会長	議長選出・議事録署名 人指名	赤田昌也代議員(鉤 路東PTA会長)	大貫司監事より「会 則の規定に基づき監 査したが、適正に執 行されている」旨の 報告があり、第2号、 第3号議案につ いて、意見、質問等 はなく、承認。	(後志・新・小樽潮陵) 【第5号議案】 「平成25年度事業計 画(案)」	事務局長が平成25年 度事業計画案を説 明。意見、質問等は なく、承認。	(石狩・再・札幌東陵) 【第10号議案】 「その他の手で承認。 特になし	事務局長が会則第1 条、第17条、第20条 の改正案を説明。拍 手で承認。	
2	小野次長が平成24年 度収支決算を報告。	中島 圭 会長	議長選出・議事録署名 人指名	平井良紀代議員(北 見柏陽PTA会長)	大貫司監事より「会 則の規定に基づき監 査したが、適正に執 行されている」旨の 報告があり、第2号、 第3号議案につ いて、意見、質問等 はなく、承認。	(石狩・新・札幌南) 【第3号議案】 「平成24年度会計監 査報告」	事務局長が平成24年 度収支決算を報告。	(石狩・再・札幌冬寒) 【第9号議案】 「北海道高等学校P TA連合会会則の一部 改正について(案)」	事務局長が会則第1 条、第17条、第20条 の改正案を説明。拍 手で承認。	
3	議事	(1) 【第1号議案】 「平成24年度事業報 告」 宮川事務局長が平成 24年度事業を報告。 意見、質問等はなく、 承認。	記録者 城座研一(鉤路北陽 教諭)	丸山年民代議員(名 見柏陽PTA会長)	(4) 【第4号議案】 「平成25年度役員改 選(案)」 小林孝幸選考委員長 (十勝支部長)より、 理事会の承認を経た 8名の役員候補の推 薦があり、拍手によ り承認。	(5) 【第6号議案】 「平成25年度収支予 算(案)」 次長が平成25年度收 支予算案を説明。質 問、意見等はなく、 承認。	(6) 【第7号議案】 「平成26年度総会・ 第64回全道大会(案)」 後志支部	(7) 【第8号議案】 イ 主管校 北海道小 樽水産高等学校 ア 開催支部	(8) 会長 中島 圭 (石狩・再・札幌新川) 副会長 山本 富造 (胆振・再・苫小牧西 洞 野 博文 【第2号議案】 「平成24年度収支決 決」 山本伸弘	(9) 4 議長退任 赤田昌也議 長より議長退任挨拶 自己紹介 (1) 退任される長谷部直 樹監事、大貫司監事の 略歴等を紹介。感謝の 拍手が送られた。 (2) 新役員を代表して中 島圭会長が挨拶。そ の後、各自が役職名 等を自己紹介。

「平成27年度総会・ 第65回全道大会(案)」

北見支部事務局長が第7、8号議案を説明。質問・意見等はよく大大会にて、5年は一度のPTA活動振興功労者の表彰式が行われ、下村博文文部科学大臣より表彰状が授与されました。北海道関係分の表彰者は次の通りです。

▼高間
専逸

(大麻高等学校PTA元会長)
北海道高等学校PTA連合会監事

北海道高等学校PTA連合会
北海道高等学校PTA連合会
副会長
会長

▼ 榊原 綾子
(札幌国際)

北海道高等学校PTA連合会 副会長
第61回全高P連大会（北海道大会）実行委員長
乙毎高等学校 P連合会 会長

卷之三

松本 衆言（留萌高等学校PTA元会長、副会長）

第6回 全高1

孫竹
昌莘

孫竹昌

北海道高等学校 P.T.A.連合会 監事
北海道高等学校 P.T.A.連合会 副会長
第51回全高P連大会（北海道大会）副美亭委員

▼左藤真弓美

北海道高等学校父母と先生の会元会長
監事

第61回全高P連大会（北海道大会）監

〈敬称略〉

敬称略



**平成25年度
北海道高等学校PTA連合会事業日程**

平成25年7月28日現在

月	日	曜	内 容
6	14	金	道高P連「総会」・第63回道高P連大会（釧路・根室大会）第1日目
	15	土	第63回道高P連大会（釧路・根室大会）第2日目
	21	金	全国高P連第63回山口大会参加申込締切
	22	土	全国高P連・平成25年度第2回総務委員会・第2・3回理事会・総会
	23	日	全国高P連・平成25年度第1回常置委員会・健全育成委員会・協力者委員会
7	7	日	全国高P連第3回総務委員会・第4回理事会
	28	日	道高P連平成25年度第1回理事会等
8	2	金	全国高P連第1回賠償責任補償制度運営委員会
	2	金	高校生と語るつどい第1日目（北見支部・ネイパル常呂、日高支部・静内ローレルホテル）
	3	土	〃 第2日目（北見支部・ネイパル常呂、日高支部・静内ローレルホテル）
	21	水	第63回全国高P連大会山口大会運営会議・事務局長会議他
	22	木	第63回全国高P連大会・山口大会
9	8	日	高校生ICT Conference2013in北海道（13:00札幌ファクトリー）
	13	金	道高P連だより128号発行
	18	水	高校生と語るつどい第1日目（石狩支部・NTT北海道セミナーセンター）
	19	木	〃 第2日目（石狩支部・NTT北海道セミナーセンター）
	21	土	全国高P連第2回各種常置委員会・第4回総務委員会
10	〃	〃	第5回理事会
	22	日	〃 第1回全国会長・事務局長研修会
	28	土	（※日本教育会北海道大会…道高P連後援）
11	20	日	北海道シンポジウム（旭川支部・旭川グランドホテル）
	20	日	高校生ICT Conference2013in北海道（13:00札幌ファクトリー）
	21	月	全国高P連第2回賠償責任補償制度運営委員会
12	3	日	高校生ICT Conference2013サミット（東京）
	上		第2回支部事務局長会議
13	下		全国高P連中間監査
	中		道高P連だより129号発行
1	中		全国高P連第3回賠償責任補償制度運営委員会
2	8	土	全国高P連第5回総務委員会・第6回理事会・第2回会長・事務局長研修会
	9	日	〃 第3回各種常置委員会
	15	土	平成25年度第2回常任理事会・理事会・各委員会等
3	中		高P連だより130号発行
4	上		正副会長会議
	上		第64回道高P連大会（後志大会）案内発送（後志支部）
	下		平成25年度第3回支部事務局長会議
	下		平成25年度決算監査（監事）
	下		第64回道高P連大会（後志大会）参加申込締切
5	上		第64回全国高P連福井大会・各単P案内（旅行会社）
	上		全国高P連監査
	中		全国高P連平成26年度第1回総務委員会・第1回理事会
	17	土	道高P連平成25年度第3回理事会等、平成26年度役員選考委員会
6	中		第64回全国高P連福井大会申込締切（旅行会社）
	14	土	道高P連「総会」・第64回道高P連大会（後志大会）第1日目
	15	日	第64回道高P連大会（後志大会）第2日目
備 考	※各支部総会（5/上旬～6/上旬）		
	※災害補償制度説明会・運営委員会等（未定）		

**平成25年度
北海道高等学校PTA連合会役員・理事等名簿**

平成25年7月28日現在

No	役 職	所属等	氏 名	学校名	所属委員会	備 考
1	会 長	石 狩	中島 圭	石狩翔陽	—	全国：理事・調査広報委員★
2	副会長	石 狩	山本 富造	札幌新川	健全育成	全国：進路対策委員★
3	〃	胆 振	村上 義人	苦小牧西	総 務	全国：監事★
4	〃	石 狩	洞野 博文	大麻	研 修	全国：研修委員★
5	〃	校長協会	山本 伸弘	札幌月寒	総 務	北海道高等学校長協会会长★
6	監 事	石 狩	野村 光孝	札幌南	総 務	
7	〃	石 狩	池本 章	札幌東陵	健全育成	
8	〃	後 志	笛谷 純代	小樽潮陵	研 修	
9	理 事	全国出向	蜂谷 規彦	旭川南	健全育成	健全育成委員長（全国：健全育成委員）★
10	〃	石 狩	長谷川 聰	札幌東商	総 務	
11	〃	石 狸	下山 春美	札幌東豊	研 修	
12	〃	道 南	千秋 栄	函館水産	健全育成	
13	〃	後 志	中島 茂則	小樽工業	研 修	
14	〃	空 知	橋浦 正広	芦別	研 修	
15	〃	旭 川	佐藤 慎二	旭川農業	健全育成	
16	〃	留 萌	橋本るみ子	留萌	研 修	研修委員長★
17	〃	名 寄	渡邊 博史	名寄	総 務	
18	〃	北 見	寺中 賢武	網走南丘	総 務	
19	〃	十 勝	森 房明	帶広柏葉	健全育成	
20	〃	釧 路	鈴木 敏夫	釧路商業	総 務	
21	〃	根 室	石川 誠	別海	健全育成	
22	〃	胆 振	谷藤 豊	室蘭東翔	総 務	総務委員長★
23	〃	日 高	武田 修一	静内	研 修	
24	〃	校長協会	富田 敏明	札幌南	総 務	校長協会指名理事（校長協会副会長）
25	〃	〃	中村 至	文教大明清	健全育成	〃（校長協会・私学・理事）
26	〃	〃	馬場 保孝	石狩翔陽	研 修	〃（道高P連会長）
27	〃	〃	田邊 彰宏	岩見沢東	健全育成	〃（校長協会空知支部長）
28	〃	〃	逢見 稔嗣	札幌東商	総 務	〃（道高P連石狩支部長）
29	〃	〃	菅原 浩	札幌東豊	研 修	〃（道高P連期石狩支部長）
30	〃	〃	大鐘 秀峰	札幌真栄	健全育成	〃（校長協会事務局長）
31	〃	教頭・副校長会	倉内 慶一	札幌南	健全育成	教頭・副校長会会长★
32	〃	事務局長会	伊藤 陽司	有朋	総 務	公立学校事務長会会长★
33	〃	養教研会	大村 道子	札幌東	研 修	養護教諭研究会副会長
34	〃	次期開催事務局長	齐藤 昌志	小樽水産	研 修	小樽水産教頭（次期後支事務局長）

顧 問	榊原 綾子	前全国高P連理事・前北海道高等学校PTA連合会会长
-----	-------	---------------------------

★ …… 常任理事

総務委員会（11名）

研修委員会（11名）

健全育成委員会（11名）

※敬称略

広報特別委員会

委 員 長 山本 富造（副会長）

副委員長 管野 友香（札幌情P会長）

委 員 前村 啓子（札琴工P会長）

〃 西村 真理（札幌南P副会長）

〃 田中 淳子（恵庭北P会長）

組織等検討特別委員会

委 員 長 村上 義人（副会長）

委 員 松本 衆司（元全国専務理事）

〃 谷藤 豊（総務委員長）

〃 宮川 恒美（事務局長）

※事務局

小野 修志（次 長）

小田島美香（局 員）

会長コラム



高P連だより128号の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。6月15日に釧路市で開催された平成25年度北海道高等学校PTA連合会総会において、今年度も引き続き会長職を仰せつかりました。微力ではありますが、引き続きご支援とご協力を願い致します。

さて、同日開催されました釧路大会では約1000名近くの会員の皆様にご参集賜り、有意義な大会を開催することができました。ご参加頂いた皆様に厚くお礼申し上げますとともに、大会の主管を頂きました釧路支部・根室支部の皆様に重ねてお礼申し上げます。高校生を取り巻く環境は、依然と

して厳しい状況にあります。今日まで継続して対応してきた問題に併せて、近年急速に発展してきた情報化の流れに対する対応も急務といえます。昨年度開催したスマートフォンの適正な利用についての講習会をはじめ、今年度は様々な情報をいかに識別し、有益な情報を活用するかを高校生に考えて

高校生ICTカンファレンスを、北海道において初めて開催致します。様々な事業を通して、子供たちの健全な育成を支援し、大切な命をまもるという取り組みを積極的に進めて参りたいと考えます。

また、8月2日～3日に開催された「高校生と語るつどい」には、北見支部・日高支部にお伺いして参りました。そ

**北海道高等学校PTA連合会は、
高校生のための「災害補償制度」を
主催しています。**

**参加校 146校
生徒数 54,250人**

**多くの学校の参加を
期待しております。**

**私にジャストフィットする保険を選ぶなら
いろいろなかたちの「安心」があるエース保険。**

いつでも、どこでも、今日も、未来も。どんな人にもぴったりな「安心」と「満足」を、エース保険が提供いたします。



エース保険
ace Insurance

